京城新報

●新聞料 ▲壹部金五錢 ▲一ヶ月前金[illegible] ▲三ヶ月前金[illegible] ▲六ヶ月前金[illegible] ▲郵税一ヶ月金[illegible]
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行金三十錢 ▲四號活字十四字詰一行金四十五錢
●陰曆 四月二十一日
發行編輯兼印刷人 秋山忠三郎
發行所 京城西署西小門通 京城新報社 電話六六三番

總務長官としての鶴原氏（上）

翠山生

▲附き纏ふ虛榮の心▼

花は紅、柳は綠と寸法の極つて居る自然の原則を、人爲の細工にて無理から花は綠に柳は紅にしやうと思ふから、世の中の事は何に呉れとなく面倒となつて來るのである、梅の匂ひを櫻に眾めて、しだれ柳に咲かしたいとの注文は、固より出來ぬ謡當で、之れは都々逸子の慾張り文句に過ぎないが兎角世の中の事は、自己の天成に顧みて、分に安んずるといふ事を忘れてはならぬ、ツマリ此の分に安んずるといふ事が、自分を知るといふ證據で、人間は何んでも此の分に安んじて、着實に世の中を渡つて行きさへすれば如何なる場合に遭遇するも決して失敗といふ事はなく、々に成功し、又世間の人からも暗々の裡に少なからぬ尊敬を拂はれるやうになるのである、ダガ邦はホンの表面丈けの理屈で、却々さう斗りは行かぬ、凡人の淺間しさ、悲しい事には虛榮心とかいふ厄介な奴が間斷なく附き纏つて居る以上は誰れにしても此の分を越ねたがるから、ソレで失敗とか、蹉跌とかの感心しない文字が撒き出された果ては鴉の嘴ごか何んとか面倒な文句迄が引合に出されるのである……所で今爰に月旦せんとする鶴原定吉氏の昨今の地位は、果して自分の性格に適當し、鶴原氏としての所謂分なるものに恰當し居るであらうが、イヤ〳〵恐らく恰當しては居るまい、只自分丈強いて恰當して居るかの如く裝ふて居るのではあるまいが、乞ふ須らく氏が從來の閲歷に就て徵して見やう、

▲世渡りはマヅ上手▼

氏は世人も知つて居る通り、赤門出身である赤門を出てからいろ〳〵な仕事をしたが官職としては、天津で（あつたか）の領事をした事がある、ソレから歸朝して三十年頃に日本銀行に職を奉じた、明けて三十一年時の總裁岩崎彌之介氏が部合上總裁の職を辭すると同時に、副總裁たる山本氏が、一諦して其の後を襲ふ事となつたので、大分頭株連中の紛紜を來し岩崎派山本派の二派がヒドク軋轢したが、結局氏等は山本氏に對する面當てからストライキを起し、同時に同僚河上謹一などゝ袂を聯ねて去つたが氏も亦當時は如[illegible]から公惡るさをしたのである、

▲雜誌を經營す▼

ソレから今度は柄にもなく腕一本脛一本の書生となり、大に言論界に雄飛しやうと決心して天野爲之氏と共に東洋經濟新報を發行して、一面田口卯吉氏の東京經濟雜誌に拮抗しやうと計つた、併し總ての名利勢望の念を拋棄して迄も一枝の筆に縋り、時代の風潮を指導して眞面目に世道人心の爲めに貢獻しやうなどゝいふ質摯重厚の質に乏しい氏の筆が、何んで社會の注目を惹かうぞあらうか、幾千もなくして新報社を退いたが、才氣の走つて居る丈けに處世術に巧みなる氏は、今度は鐵道屋と化け、關西鐵道會社の社長となり澄ましたのである、

▲出世の端緒を切り開いた▼

關西鐵道の社長となつてから大分評判が好く、全國の鐵道界では、敏手辣腕の才物として重を置かれた、併し氏は一個の鐵道屋の親方では到底滿足しないと見ね、始終其の賢き頭と機敏に轉輾する眼孔とを以て油斷なく一身の發展向上を狙つて居つたが、ナンデも當世の官海に頭を擡げて、將來の顯達を計らふとするには例の伊藤の親爺をカン驅すに若かずと、爰に或る人の手蔓を求めて伊藤公に親近するの端緒を切り開いたが伊藤公も、彼が人並勝れて才智のある上に非常に氣が利いて萬事に拔目がなく、此方が思つて居る事は大抵悟つて居て何んでもテキパキと事を計るといふ工合であるから、此男必ず將來は物になると思ひ、一方ならず寵愛し、公が政友會組織の當時に總務委員の一人として擧げたのである（つゞく）

外國貿易旬報（五月上旬分）（關稅局調査）

	本旬 本年分	本旬 前年同期
	圓	圓
輸出品價	三五九、九七〇	三五二、六三五
輸入品價	九七七、八〇六	一、一八二、二三三
計	一、三三七、八六六	一、五三四、八六八

本年貿易額の港別左の如し

港名	輸出額（本旬分）	輸入額（本旬分）	計（本旬分）
	圓	圓	圓
仁川	[illegible]	三三〇、九八五	三五〇、三二五
釜山	[illegible]	二五七、七〇六	二三四、一七四
元山	[illegible]	七六、三六一	一二八、九四四
鎭南浦	[illegible]	四一、九〇五	二六五、五〇三
京城	—	一〇三、四四三	一〇三、四四三
群山	[illegible]	一四、四七一	三五、八〇五
木浦	[illegible]	三、五三六	二三、九七四
馬山浦	[illegible]	八、四二三	一一、四八八
清津	[illegible]	一五、六四六	一五、六四六
城津	[illegible]	八、四七五	一四、九〇五
新義州	[illegible]	六、三三五	四三、六四〇
計	[illegible]	七七七、八八六	一、三三七、八六六

次に本年各港の貿易額を前年同期に比較するに左の如し

港名	輸出額	輸入額	計
	圓	圓	圓
仁川	一、二二七、九六八	五、七二五、六六八	六、九五三、五三六
釜山	一、四六六、五五五	二、九一七、五一四	四、三八四、〇六九
元山	二六六、九一四	九四一、一五六	一、二〇八、〇七〇
鎭南浦	三七〇、六一三	九五一、一〇七	一、三二一、七二〇
京城	二、五〇〇	一三一、三七七	一三三、八七七
群山	九一三、一八八	二一七、一四三	一、一三〇、三三一
木浦	五〇六、〇四三	二三〇、六五五	七五六、六九八
馬山浦	一〇〇、三五八	四五一、五一七	五五一、八七五
城津	三五、二二六	八三、三一九	一一八、五四五
新義州	一〇三、五九一	一九〇、二五〇	二九三、八四一
計	四、九九〇、八九六	一一、八一九、六五六	一六、八一〇、五五二

●輸出重要品表●

品名	本旬 本年分	本旬 前年同期
	圓	圓
米	一六一、二九七	一七、八三六
大豆及小豆	八五、二六七	五〇、六七三
鮮魚乾魚及鹽魚	二、九〇三	二、二二四
牛皮	三、三三三	二、七九九
棉花	三、一四九	—
生牛	二〇、〇〇八	三、三三四

●輸入重要品表●

品名	本旬 本年分	本旬 前年同期
	圓	圓
食鹽	二五、一二三	二、一二三
砂糖及精糖	三、九〇八	四四、六九〇
清酒	一六、二七七	一七、三三三
石油	一〇〇、一七〇	三〇四
打綿	二、〇八三	一、三五三
綿糸	三六、一九九	七三、〇二九
生金巾及[illegible]	六四、三六八	二九、九四〇
シーチング	[illegible]	[illegible]
晒金巾	七、三五五	三、七九八
日本木綿	六三、三三〇	五三、一一五
麻布	四四、八八一	一〇、三四二
絹布	九、三八七	三三、四六九
紙	一〇、七三三	二〇、一一三
石炭	四三、七四九	一五、〇六三
熟鐵	八、一七二	七一、七〇一
煙草（葉卷除）	七、二三五	七〇、三三九
木材及板（鐵道枕木を併す）	二六、四四八	八五、三二四
セメント及石灰	七七五	二六、〇三五
マッチ	五、〇六四	一六、七九二

新刊紹介

●折々草●● 幸田露伴氏校訂の下に建部綾足氏の著はせしもの内容は標題の如く短片にしてツマリ小品文を集めたるものなり趣向觀察はさして他の奇なきも文章は華麗にして絢爛朗々誦すべし（發行所東京神田區富山房定價廿三錢）

●園藝● 口繪には依例艶麗なる花卉の圖を挿み内容は說林園藝史林園藝料理養禽養魚造花思潮等を記述せるが何れも有益にして趣味多く園藝に嗜を有するものゝ參考の資となすべし（發行所東京[illegible]紫園定價廿五錢）

●普通商科講義錄●●●●● 東洋大學普通商科に於て其の受持講師が講演したるものを一冊子として發行せしもの講演の目錄は十九科目よりなれるが一讀面のあたり講座に在るが如き感あり（發行所東京小石川東洋大學内定價四十錢）

●實業の世界●●●● 三田商業界の改題したるものなり大隈伯の福澤先生と我輩の處生主義鎌田氏の商業道德改善策を初めさし森村和田氏其他の有益なる記事あり頗は日本一の實業雜誌と銘打ちたるだけありて從前に比し面目を一新したり（發賣元東京芝三田四國町二ノ三共同社）

小說　新不如歸（十五）

篠原嶺葉著

やがて西脇は尾花の待つてる客座敷に來て「どうも長く御待せ申して濟まんかつたです。ツイ早くと思ひましても色々話が出て來るものですから……まあどうぞ御喜び下さい、實に不思議なほど奇態な事もあるものです。能く〳〵御縁があるのでせう、先刻も話申した如く、此の二三年來家内中が口の酢ばくなる程勸めましても、どうしても承知しなかつたですが何と思ひましたか唯今斯樣々々と云ひ聞かせました所が、直ぐ承知して參ると申すのです、これには實に母を始め私まで驚いて思はず顔を見合せました、これも猶且御縁があるからでせう、斯樣な次第ですから不肖女ですが、御希望に任せて差上げます、どうぞ幾久しく可愛がつてやつて下さい。」

云はれて、今まで言ひ出すは言ひ出したもの〻、旨く承知して下れるか、それとも可厭と斷られるか、否應の返辭如何にと、それのみ案じつゝあつた尾花は、溢れるばかりの喜びを湛へて、

「では、あのお孃さんも承諾して下さつたんですか……それはどうも有難うございます、私の身に取りましては遺憾ない事はありません厚く御禮を申します」

「斯う斯う事が極つて了ひますと、此上は[illegible]と、やがては結婚の日を取極めないものですが、これでおつたて[illegible]にも既に御豫定がおありなさるんですか。」

「いや、それは結婚の御承諾を得た上と思つて、まだ何日とも豫定はありません、私の方は私次第で何日でも宜いですが、お宅の御都合は如何でございませう。」

「私の方も大抵の準備は爲てありますので、斯う約束が極りました上は、成るべく早い方が宜いと考へます。」

「私も一日でも早い方を希望して居りますから、では斯う極めては如何でせう、來月三日天長節の日と。」

「然うですね、來月三日……まだ彼是十七八日ありますね。宜しうございませう…それでは十一月三日と取極ませう……して結納なんかは奈何致しませう。」

「あんまり古例を破るも變ですから、結納なんかは無論作法に依つて爲る事に致しませう。」

「結納は其と致しまして、結納に就いて何んか御希望でもありませうか。」



「希望と有仰るは。」

「いや、日本式に致すのか、或は洋式にでも致す御希望がお有んなさりはせんかと思つて伺つたです。」

「あゝ然うですか、無論日本式が宜からうと思ひます。」

「では然う云ふ事に願ます、此外に打合せ致したい事があるかも知らんですが、其節は私が伺つて御相談申す事に致しませう。」

「私も又相談を要する事が出來た場合には伺ひする事に致します。」

かゝる話の中に酒肴の準備整ひしと見ゆれ、杯盤は所狹きまで列べられた。西脇は先づ一杯の醇酒を試みた後

「誠に御粗末で何も有ませんが、御祝の驗でございます、御意の召上つて下さい。」

「どうも御心配かけて恐縮です」と、やがては笑顔に滿ちて、最と愉快さう

◎家庭の娯樂用 辻屋蓄音器賃貸 一席金五圓也
但し御希望通りの音譜貳打奏樂其他は壹打を增す毎に金貳圓增受す
町毎に店員を派して其奏樂技術に當らしむ
遠隔の地は實費申受けの事
東京三光堂 韓國代理店
京城本町 辻屋 本店電 二四八 支店電 三六六

開業廣告
▲内科 ▲外科 ▲眼科 ▲婦人科 ▲小兒科 ▲產科 ▲花柳病科
●午前宅診 午後往診
小生帝國醫科大學に多年研究中の處今般左記の處へ開業致し一般患者諸氏の診察に從事す
京城本町六丁目共立病院
院主 醫學士 山中彌太郎

花柳病專門 十字病院
龍山老松町
院長 帝國醫科大學選科得業 望月憲磨
今般更に眼科部を設け最新式機械を設備し眼科全部の治療をなし又遺憾なきを期す若し夫れ技術巧拙に至つては既往の治績に徵せられんことを

入院隨意
●内科 ●小兒科 ●外科 ●婦人科 ●眼科 ●花柳病
京城南山町三丁目 吉田病院

移轉廣告
當院都合により左記の處に移轉從前の通診療に應ず
看護婦募集（經驗あるもの）
京城南大門通二丁目（日の丸旅館跡）
五月 戶田病院

開店廣告
◎工務部 土地家屋設計 測量製圖 鑛物鑑定 森林鑛山 鑛石分拆 諸工事請負監督 鑛床地質調査
◎人事部 訴訟登記 諸願屆代書 委託金錢貸借 家屋周旋 電話鑛山 土地賣買 起草辨護士紹介 文案 其他百般ノ事務取扱開始
今般前記ノ事務取扱開始致シ精勵敏速ヲ旨トシ御依賴ニ應可候ニ付何卒御用命ノ程偏ニ希望仕候
京城旭町二丁目（理事廳門前）
弘成舍 電話架設中

日韓病院
大平町二丁目
大漢門前

小供入用
當所に於て小供入用に付き
一學力高等小學校卒業程度
一年齡十五歲以上十七歲以下
のものにて希望の御方は本人自身御來談有之度候也
京城本町二丁目
三井物產合名會社京城出張所

京城本町一丁目八十四番戶（電話六四二番）
日本法律學士 岩本英雄法律事務所
仁川港新町一丁目九十七番戶（電話五二七番）

日星肥料
東京人造肥料株式會社
過燐酸肥料 完全肥料
明治廿年創立 資本金三百萬圓
釜山 小松川 小堀屋 神戶 ノ三工場ヲ有ス
かまやはり

養女にやりたし
生後七十日にして極めて健全
姓名在社

●精白米卸小賣●
●石拔 一升ニ付 十七錢
●白米 十六錢五厘 十六錢
一斗以上市内には出米迅達 俵賣は特別御相談仕り候
月日 京城旭町一丁目
各位樣 前田精米所

入院隨意
◎内科 ◎小兒 ◎外科 ◎婦人科 ◎眼科
京城本町六丁目 小川病院 電話六五三

◎會員募集（規則書申込次第送呈す）
初等、中等、高等、各科ノ語學講習生ヲ募ル
別科國語及漢文ヲ教授ス○本會ハ各專攻ノ教師担任ス○個人教授、出教授、通譯、起稿文飜譯等ノ需ニ應ズ○會員ニ何時入會セラルゝモ入會當日ヨリ起算シテ向フ滿三十日間ヲ一ケ月分ニ換算スルノ便益アリ○會員ノ希望ニヨリ晝夜何時ニテモ教授ス
京城大和町二丁目（駐劄軍司令部前通）
日韓英 語學講習會

京城新報

外債を起すべし

帝國の對韓政策が更に一轉進張を要するは余輩の屢々說く處なり、當局者今尙ほ之に顧念せざるものゝ如し、惟ふに早晩余輩の言議に傾聽せらるゝの時來るべし、唯其好機を逸せざるやを懸念するのみ。

余輩は暫く此問題の解決を當局者に考案せしむることゝすべし、然れども之が爲に現狀の儘に推移すべからず、半島の開拓爲すべきことや多し、起すべきの事業鮮からず交通運輸機關の設備、港灣の修築、荒蕪地の開發等急を要するもの多し、然るに財政徽々として振はず、此際に於て之を人民に誅求するの不得策たるのみならず、現狀亦到底之を許さゞるなり、然らば如何にすべきか、現狀の儘因息の政策を續行すべきか、之れ普通の眼識ある政治家の爲すべき事にあらざるなり、宜しく國債を起して起業の資に充てざるべからず、韓國が獨立時代に於て僅に日本に起債したるに止るは、一の不可思議たるの觀あり、列國の使臣が互に權威を爭ひたる韓國に於て此事なかりしは帝國の統治權を行ふ上に於て好都合なり而して今や新事業の起さゞるべからざる機運に際會せり、此時に於て外債を起す將さに當を得たるものならずや。

余輩は此際新事業として二億圓の外債を募るも決して過大ならじと信ず、帝國の國債廿三億の多きに較して、韓國が一割弱なる二億の國債を起す敢て憂ふべきにあらず、國債の負擔を加ると同時に收入の增加を計畫して其均衡を保つは素より必要なり、鐵道を敷設し運輸の便を啓きて鑛業を發達せしめ、港灣を修築して貿易を伸張し、大々的農事の改良を施して農產物の增收を計り、諸山に大々的植林を爲し、土地の丈量を完成して地價の修正をなし、其他專賣事業の起すべきものもあらむ、斯の如くして着々起業せば、二億の外資は優に活動し、半島の物產は頓に隆起し、衰亡せむとする半島の商工業は俄然として光を放ち、外資の効力は燦然として發現せむ。

長袖能く舞ひ、多錢能く買ふ、韓國現時の財政に於ては何事もなす能はず、不生產的の軍備擴張にすら外資を募るの時代なり、生產上必須の爲に外資を起す多額と雖も決して恐るゝに足らざるなり、何れにしても帝國の統治を完ふするには、國土を開拓して產業の發達を計るは最も急務に屬す、惟ふに我當局者亦た深く考る處あらむ、然れども徒に荏苒歲月を空過すべからず、而も僅々二千萬圓の國債を起して因息的財政策を行ふが如きは決して智者のなすべき事にあらずと信す。

帝國は此際斡旋して英斷せしめざる可らず之が起債に就ては韓廷に異議あるべき筈なし、韓國開拓の急を認むる帝國政府亦異議なきは當然なり、余輩は當局者に向て之を斷行するの利にして、今其時機なるを勸告するもの也。

外人の統監評(其一)

仁川開港紀念會に於て余輩の會したる某外人口を極めて伊藤公の偉大なるを說いて曰く朝鮮に於て公の失敗せるは偶以て公の偉大なるを證する所以なりと、余輩外人に向つて其理由を問へば答て曰く「百川を吸ふの長鯨は盟の中に在て良く泳ぐ能はず」と穿ち得て妙なるかな。

外人の統監評(其二)

宣敎師等曰く「伊藤公の人道主義は其深さ皮膚の厚さ程なり」と外商等擧つて口を開いて曰く「伊藤公の門戶解放主義は其深さ皮膚の厚さ程なりと」噫一意專心外人の歡心を買はんことに勉め其極邦人の怨を受くるをも敢て意とせられざる程なる公にして此酷評に接す、濟度し難きは異人共なり公が五十年間大切に抱持したる異人觀は最早改められざるべからざるものなり。

桑港電報

▲米艦隊は殘留せず

華盛頓よりの公報に依れば目下廻航中なる米國廻航艦隊は一隻も太平洋に殘留せず全部太西洋に歸航すべしと(二十日東京經由)

東京電報

▲經理學校へ臨幸

天皇陛下には本日陸軍經理學校卒業式へ臨幸あらせられ優等生四名に對し銀時計を下賜せられたり

▲珍田次官の任命

珍田外務次官は獨逸大使に任命せらるゝ事と決定し不日發表せらるべし(以上二十日發)

各地電報

▲警察隊退却 (二十日着)

慶尙北道榮川須興方面に暴徒約千名蜂起し我守備警察隊三十名と劇戰一時間に亘りたるも我に利あらず退却せり當地より應援の爲め警察隊急行す(大邱電報)

雜報

●觀察使會議

觀察使會議開催のため內部大臣は各道觀察使に本月二十三日迄に出京すべき旨通知を發したる事は既報の如くなるが愈々廿五日(日曜日)より向五日間度支部前廳舍に於て開會する事に決定し各觀察使共續々入京しつゝあり開期中伊藤統監は各觀察使を參集せしめて訓示すべく又議題の都合にて豫定の期間を延期する事あるべしと云ふ

●財務監督局長會議終了

度支部に於て開會中なりし財務監督局長會議は愈々昨日を以て終了す今回の會議は主として諸問協議をなし諸種の問題に關し中央官廳の見る所を告げて各局長の意見を聞きたるものにして此の會議の結果として漸次財務上諸多の改善施設を見るべしと云ふ

●文官退官恩賜金

本年一月勅令第八二號を以て官制改正に依り廢官又は退官せられたるもの及隆熙元年七月以後軍制及行政改善の結果にて廢官退官せられたる判任官以上の文官に對しては退官恩賜金を給與せらるゝ事となり其賜金の請求方は各在勤廳の證明書を添へ五ヶ月間內に請求すべき事に閣令にて施行細則制定せられ爾來度支部に請求せられたるもの百六件にして同部にては目下夫々調查中の由なるが遠からず給與額確定に至るべきも未だ請求書提出せざるものある由なれば本月末日迄に請求書提出せざれば權利の消滅となるべしと云ふ請求書提出未濟の廢官退官者は最も注意を要すべきものなる可し

●漁基の入札に就て

宮內府帝室有財產整理局は本月廿二日午前十時昌德宮敦化門前なる同分局に於て慶尙南北道各部所在の漁基及び海毛藿岩を競爭入札に付して其の本年度採取權を許可する旨釜山に發行せる新聞紙に公告せるが元來右の漁基は經理院に於て稅金を徵收せしも果して帝室有たるべきものなるや否や不明瞭にして殊に目下漁業法を發布し水產稅則を改正せんとする際同局が度支部及び農商工部と充分交涉を遂げずして右の公告をなしたるため入札期日の切迫せる今日兩部より懸合中の由なれば果して公告通り入札に付するや否やは不明なりと云ふ

●秘苑運動會

昌德宮內秘苑に於て御覽に供する京城內官私立學校選拔學生の運動會は愈々本日開催せらるゝ事となれり參加生徒四百二十名は四日午前八時半迄に大韓醫院境內に集合し九時秘苑に入り十一時皇帝陛下出御あり既報の各運動競技を御覽に供せる順序にて當日の優勝者に對する賞品は宮中より御下賜の筈にて金額約五百圓なりと云ふ尙當日は宮內官の重なる人各大臣及び京城內各官私立學校長には陪觀を御許可相成ると

●駐韓軍交代期

今回の統監府方針に基く賊徒の大掃蕩の終了期は秋季と豫定せらるゝ故に駐韓軍たる第十三師團及び步兵第十二旅團の歸還は豫定の如く本年十月にして特派騎兵四個中隊は掃蕩の進行狀態に應して許す限り速かに歸還せしむべく右師旅團よりは遲るゝ事斷じてなし又上番師團は既に第六師團と決定し今回の增遣に際しても其步兵第二十三聯隊を出兵したる次第にて該聯隊は所屬師團の十月に渡韓すると共に二箇年間駐韓守備の任に服すべく旭川步兵第二七聯隊は未だ確定せる所あらざるも掃蕩終了後の形勢及び憲兵配備の完成如何に依りては全部歸還の概定なりと

●增遣軍隊入京

一昨日仁川に上陸したる第七師團步兵第二十七聯隊千五百名の內七百名は昨日仁川發同日午後〇時三十分南大門着の輸送列車にて到着したり居留民團に於ては吏員出張して列車の南大門に着するや煙火數發を打揚げ居留地は各戶國旗を掲揚し歡迎の意を表したり

●第二艦隊將校叙勳

第二艦隊司令長官伊集院中將以下へ韓帝より左の如く叙勳ありたり

叙勳一等賜太極章
第二艦隊司令長官 海軍中將 男爵 伊集院五郎

叙勳二等賜八卦章
第二艦隊機關長 海軍機關大佐 平部貞一
吾妻艦長海軍大佐 上泉德彌
明石艦長海軍大佐 田中盛秀

叙勳三等賜太極章
千早艦長海軍中佐 高木七太郎
第二艦隊參謀 海軍中佐 平岡貞一

叙勳三等賜八卦章
第二艦隊參謀兼副官 海軍少佐伯爵 佐野常羽
第二艦隊參謀 海軍少佐 上村行輝

叙勳四等賜太極章
第二艦隊參謀 海軍大尉 山本信次郎

●各裁判所首腦部決定

既記せし本邦人の韓國各裁判所判檢事は左の如く任命せられ昨日の官報に依り發表せられたり

平壤控訴院長永島巖、大邱控訴院長土井庸太郎、大邱控訴院檢事長黑川穰、平壤控訴院檢事長向井巖、大審院部長中山勝之助、大邱地方裁判所長鳥山虎太、大邱地方裁判所檢事長吉田雄六郎、大審院檢事騰鉦次郎、公州地方裁判所檢事長岩田孝慈、咸興地方裁判所長元木直一、光州地方裁判所長岩本以明、平壤地方裁判所長玉置璲、平壤地方裁判所檢事長兼重次郎、咸興地方裁判所檢事長鄕津友彌、海州地方裁判所長西平、光州地方裁判所檢事長北村五七郎、晋州地方裁判所檢事長關口半、公州地方裁判所長勳使河原健之助、京城控訴院檢事寺田恒太郎、大邱控訴院部長松下直美、海州地方裁判所檢事長青木靜造、京城地方裁判所部長横田定雄

●通關屋問題の解決

過般來仁川稅關と同地商業會議所との間に交涉中なりし通關業者に關する件は其後益々進捗し稅關にては目下各課長と商議中なれば此れさへ纏まらば直ちに實施さるゝに至るべく其內容は第一に從來自由營業なりしを改めて稅關長の許可を經ざれば營業し得ざることゝし營業信認金は五百圓と規定せり而して今後は比較的不備なる規則にのみ依らず寧ろ事實を參酌して嚴重なる處分を施すべしと因に該規則發表期に就ては未だ何等の考案なきも宮本稅關長は來る三十一日群山へ出張する筈なればそれ迄には是非とも發表する筈なりと

●仁川麥酒界の現況

キリンビール對日本麥酒會社の競爭に就ては本紙の屢々報導せる處なるが其後日本麥酒會社側は鋭意販賣店の歡心を買ふことに努め種々畫作するところありしが仁川に於てはキリン側の右參河野商店を味方に引入れたれば頽勢頓に挽回して今後の活動期して待つべきものあり而して過般解散の恐運に臨みつゝありし京仁麥酒販賣組合は麥酒會社側の勢力が前記の如く優勝となり居れば當事者も姑暫くは形勢を傍觀し居り

●米は高く豆は安し

仁川昨今の在庫米は其額敢て減少せるにあらざるも餘りの安値に賣惜しみ一方入津は思ふに委せず爲めに相場は數日來稍昂騰し各米を通じて約二三十錢高なるが輸出口の買物としては依然尠く只當用口の需要に過ぎざる摸樣なるが大豆は入津多きと坂地依然不味なるとに依りて益々下落し昨今は何れも二十錢安なり

●三百の賊を討つ

平安北道江界守備隊より出したる下士以下十名は憲兵下士以下十名と協力し四月二十七日江界南方約八里の平南鎭に於て約三百の賊を討ち其九を殪す賊の傷者不明彈丸製造器二十其他若干を鹵獲す

●海外發行韓字新聞押收

米國桑港にて鄭在寬の發行する共立新報第七十四號同文議穆の大同公報第十四號布哇にて朴一三の發行する金成新報第十三號浦港にて崔晚學の發行する海朝新聞第五十五號は何れも治安に妨害ありと認められ頒布を禁止し押收されたり

●圖根測量見習終了

臨時財源調查局にて修業中なりし圖根測量見習生は過日修業試驗を執行したるが總員三十八名中及第者三十七名なりき

●高等女學校開校式の順序

同校開校式は二十三日午後二時より擧行せらるゝ筈にして伊藤統監を初め長谷川大將等も臨席の承諾ありたる由にて統監には特に同校の爲め懸額を揮毫せられたり同式場の順序を左に掲ぐれば

式場の順序

(一)生徒職員着席(二)來賓着席(三)統監閣下を門內に迎ふ「奏樂」(四)民長始式の辭(五)君が代「唱歌」(六)校長勅語奉讀(七)勅語奉答「奏樂」(八)民長式辭(九)來賓祝辭(十)生徒總代祝辭(十一)校長答辭(十二)開校式の歌(十三)統監閣下及長谷川大將退場(十四)來賓退席(十五)職員生徒退席

餘興

新綠(二年生)ジャーマンクワドリール(三四年生)青嵐(二年生)コチロン(三四年生)游ゆかば(三四年生)

餘興後來賓には別席にて立食の饗應あり生徒の父兄へは茶菓の饗應ありと云ふ

●演藝會彙報

▲長谷川大將には大藤副官をして丁重なる書面に金五十圓を添へ鐵道青年會に寄贈せられたりと云ふ

▲岡崎中將も鐵道青年會の趣旨を賛成し金貳拾圓を寄附せられたりと云ふ

▲本日開演の本町座の演藝會には渡邊大審院長開會の辭を述べらるゝ由

▲獨逸總領事クルーゲル氏の夫人は聲樂家として又ピアニストとして京城在住者中屈指の方なるが來る二十五日出發歸國の途に上らるゝ豫定にて行李の準備等多忙なるにも拘はらず廿一廿二の兩夜殊に出席奏演の勞を取らるゝよし其好意は青年會の人のみの感謝する所にあらず

▲ドクトルハンの名は京城人士の耳には新なるものにあらざるが同氏も出席獨唱をせらるといふ

▲貞水初夜の講談は第一席に愛國心千人針を演ずる由、此れは閑院宮妃殿下の御仁德と我が帝國民の愛國心とを遺憾なく發揮せしものにて去月東京にて愛國婦人會の慈善會の時演劇に仕組みて歌舞伎座に上せ十二日間大入を占めし貞水得意のものゝ由、第二席は義士銘々傳中より神崎與五郎の東下りを精一杯に演ずべしといふ

▲手品其他演藝の數多き故開場は六時とし奏演は七時より直ちに始める筈なりといふ

▲龍山に歸る人々の便宜をはかり演藝會中(廿一、廿二、廿三の三夜共)午後十一時半南大門より龍山行の臨時發車ありと云ふ

●愛國婦人會演藝會

韓國各地へ駐劄出動の軍隊慰問並救護に關する資金募集の目的を以て愛國婦人會韓國本部が主催せる慈善演藝會は愈六月五六七の三日間京城歌舞伎座に於て開催することゝ決定したるが目下滯京中の日比野雷風氏は該會の趣旨を賛同し門弟男女十餘名を率ひて三日間同氏特得の神刀流劍舞術與劍仕合を演じ其他陸軍々樂隊の奏樂隊員有志の尺八ヴァイヲリン等奏曲貴婦人同令嬢方の寄贈になれる活人畫及韓國本部の活動寫眞等ある由入場券は一等金二圓、二等金一圓五十錢、三等金五十錢の三種なりと

●小田柿氏の園遊會

三井物產會社京城支店長小田柿捨次郎氏は本店詰を命せられ其後任として淺野長七氏來任せしを以て其留別及び新支店長披露を兼ね來る二十四日午後二時より在留官民及び各新聞記者等を招待し同氏邸園に於て園遊會を催さるゝと云ふ

●大村百藏氏雪冤會

各方面に於ける氏の友人等は一昨々夜氏の爲に花月樓に於て盛大なる雪冤の宴を張られたり聞くところに依れば大村氏は萬事皆自家の不德の致すところなりと極めて謙遜の態度を以て席上諸友に挨拶せられたりと云ふ

●李首相の統監訪問

昨日午前總理大臣李完用氏は伊藤統監邸を訪問せり

●兒玉書記官の出張

兒玉書記官は本日安東屬を從へ鎭南浦、平壤、新義州、安東縣へ會計事務及營林廠打合の爲め出張せらるゝ由

●高瀨副理事官

京城副理事官高瀨經德氏は其筋の命により東京其他に於ける監獄視察の爲め三日中に東上せらるべしと云ふ

●各監獄典獄補任

典獄神尾虎之助以下左の如く各監獄典獄に補せられたり

京城監獄 神尾虎之助
大邱監獄 富山要次郎
平壤監獄 三井久陽
公州監獄 山田虎一郎
海州監獄 芋川正義
光州監獄 古垣宗次郎
晋州監獄 松村政記
咸興監獄 諏訪善太郎

●辭令 (五月二十日)

任統監府屬六級俸下賜 福井縣屬 大野義男

●近事片々

▲猛虎 新聞の上に咆哮し洋人國際條約の炮と抗議の劍とを以て挑むの狀最も悽絕也

▲猛虎 の軀に統監府と記號し洋人の軀に毎日申報と記入せり是萬朝報のポンチ畫也

▲曾根 子伊公の繰上げ歸東を否認して暴徒の暗殺位に怖れ歸らずと日々記者に語る

▲彼處 に實と傳れば此處に虛なりと打消す世の中は斯の表裏ありてこそ面黑いのだ

▲事實 を證據立てしむる外なし暴徒の鎭靜近きにありの如き打消しは後で見苦しい

▲大審 院以下各法廷の開廳は七月一日に延びたり軈て韓國も立派な法治國と成らむ

▲日本 辯護士を公認すべきや否や一の問題たりしが今や便宜上判官の任意と略極り

▲執達 吏は專任の官公吏を置かす警官郡守等に便宜執行せしむべし最初は是で可也

▲法治 不慣の國民を對手にする大に斟酌する所なかる可らず法官諸氏の注意を望む

▲晩近 政社問題或る筋に起り不必要故に撲滅すべしと聞く惟ふに恐らく虛說ならむ

▲大韓 協會暴徒鎭撫に就て統監に具申せりとは根なき事と大垣丈夫君より申込來る

▲然り 左もあるべし餘りに大人氣なき仕打なりと思へり果然此事なしとは結構々々

▲伊藤 公近頃夜々熟睡せず二時に就床し五時には起床せるとの噂あり心勞察せらる

▲大任 を一身に負へる御身として御尤も千万なりと思ふ必しも風說のみには候はじ

▲韓人 に威嚴の利目ある今更に言ふの必要なきも一擧討伐決定後嘲笑冷罵の聲止む

▲一事 は萬事也總てに於て此手段は缺く可らず當局者も大に覺醒せる所あらむ穴賢

▲後藤 男露都に着き歡迎者多しと蠻爵の露都に於ける働き振り勇しからむ聞まほし

▲意氣 既に露人を呑む斯の如くにして始て外交の勝を得む蠻爵の貴むべき卽ち是れ

▲南滿 鐵道の發展に此行尠らぬ影響あるべし西比利亞鐵道との連絡上面目一新せん

▲露國 首相ストリピン黒龍鐵道及土地法案の通過困難爲に地位危しと或は眞ならむ

▲ウ伯 は矢張り大立物渠の首相たる時代は近に來るべし露の財政には此人を要す也

▲臺南 の二才媛笑氏黃氏明治女學校を卒業し歸島す風姿言語共に日本の淑女同樣也

▲歸來 一度古鄕に歸省し直に臺北に來り學校敎師となる二孃の如きは全く臺南の花

▲再昨 韓皇東門外陵に行幸の時安甘川山麓男女の行程を警吏認めて捉ふ厄介な助倍

●郡主事の任命

政府は先日郡主事廿一名を任命したるが右は何れも日語を解する者を試驗の上採用したるものにして尙續々と採用する筈にて內部に於て目下試驗中なり而して此等の主事は討伐隊警察憲兵隊等と連絡を圖り以て暴徒鎭定並に地方行政の便宜を得るが爲めに任命したるものにして郡主事を試驗に依りて採用したるは今回を以て始めとす

●暴徒討伐情報 (軍司令部着)

△全羅北道淳昌分遣所下士以下七名は五月十三日約廿の賊を秦仁東南約三里の地に於て發見し其九を殪す

△京畿道加平守備隊より出したる討伐隊は五月十日加平東北約一里の地に於て賊三を捕ふ

△江原道伊川守備隊より出したる三名の斥候は五月十一日伊川東北紙上里西南方高地に於て約廿七名の賊に遭遇し其三を殪し若干を傷く

△京畿道積城守備隊より出したる少尉以下十三名は韓國巡查二名通譯一名と共に五月四日東豆川東南方約二里の地に於て賊二名を捕へ一名を殪す

△咸鏡道新昌憲兵分遣所松岡伍長以下五名は五月十七日新昌の北方約三里に於て約百五十の賊を討ち其五を殪し若干を傷く鹵獲品銃器六其他若干あり

△京畿道果川憲兵分遣所の憲兵四名は五月十六日果川南方約二里半の地に於て十余名の賊に遭遇し其二を殪す

△全羅北道珍山憲兵分遣所の憲兵は五月十七日珍山北方一里半の地に於て約十五名の賊と衝突し其二を殪し六を擒ふ

●郡主事の任命　政府は先日郡主事十一名を任命したるが右は何れも日語を解する者を試驗の上採用したるものにして尙續々と採用する筈にて內部に於て目下試驗中なり而して此等の主事は討伐隊警察憲兵隊等と連絡を圖り以て暴徒鎭定並に地方行政の便宜を得るが爲めに任命したるものにして郡主事を試驗に依りて採用したるは今回を以て始めとす

●暴徒討伐情報（軍司令部着）

△全羅北道淳昌分遣所下士以下七名は五月十三日約廿の賊を簽仁東南約三里の地に於て發見し其九を殪す

△京畿道加平守備隊より出したる討伐隊は五月十日加平東北約一里の地に於て賊三を擒ふ

△江原道伊川守備隊より出したる三名の斥候は五月十一日伊川東北紙上里西南方高地に於て約十七名の賊に遭遇し其三を殪し若干を傷く

△京畿道積城守備隊より出したる少尉以下十三名は韓國巡査二名通譯一名と共に五月四日東豆川東南方約二里の地に於て賊二名を捕へ一名を殪す

△咸鏡道新昌憲兵分遣所松岡伍長以下五名は五月十七日新昌の北方約三里に於て約百五十の賊を討ち其五を殪し若干を傷く鹵獲品銃器六其他若干あり

△京畿道果川憲兵分遣所の憲兵四名は五月十六日果川南方約二里半の地に於て十余名の賊に遭遇し其二を殪す

△全羅北道珍山憲兵分遣所の憲兵は五月十七日珍山北方一里半の地に於て約十五名の賊と衝突し其二を殪し六を擒ふ

●善隣商業學校近況（續き）

本校は昨年四月に開校したるも當時元官立農工商學校に在學せし商科生は第二學年に收容したるを以て此生徒四名は本年三月卒業し一名は天一銀行に一名は漢一銀行に一名は農工銀行に各就職し一名は本校書記に採用せしが何れも執務上差閊なきが如し韓國の學生が數學の能力の缺ぐる事は一般に其の短所として稱せらるゝ所なるも此は韓人の先天的性質の然るによるか或は日本に於ても漢學のみを修めたる者が智識の粗雜なる如く初等敎育の不完全なるに基くか直ちに斷定を下し難き所にして彼等は部分的の理解には容易なるも修得したる知識を概念し推理し應用するの能力に缺ぐる所あり隨て事務上の才幹無く整理上の能力に乏し簿記の如き其の簡易なるものは優に日本學生に對比し得るも其の復雜なるものに至つては到底其の能く爲る所に非ず彼等の長ずる所は暗記的の能力にして隨て語學の如きは最も得意とする所にて昨年四月入學したる第二學年生は諸學科の筆答に日本文を以て記述し充分に思想を發表し得るに至れり目下實務的才能を訓練する方法に就き研究中なるも最も困難を感ずるは韓國の商業取引其の他が極めて幼稚の域に在りて學生等が學校に於て授けらるゝ事項は實際に商業上の現象として見る事を得ざる事にして日本に於ては學校に於て修得したる所を直ちに家庭に實行するを得又學校に於て授けられたる原則は商取引の實際に發見するの便あるも韓國の現狀は僅かに日本人町を見て此れを想像するの外なく學校と世間と大に違かれるは本校の如き實務的人材を養成せんとする目的を達する上に於て頗る不都合なり

韓國の學生が怠惰にして不規律なりとは余が赴任前日本に於て耳にしたる所にして此の點に關しては大に力を用ひざる可らざる事と信じ居たるに實際は然らずして昨年の出席步合の如き百分中九十三の好成績を示し日本小學校の平均出席步合八十五乃至九十に比し遙かに優等なるのみならず每日の始業時間に遲刻する者の如きも殆んど稀なり要するに一箇年間の經驗に徵すれば韓人學生は學科の成績に於ても其の品行に於ても豫期以上なり但し彼等は家庭に於ても學校に於けると同じく規律を重んずるや否や又學校に於て訓練したる所を終生實踐躬行するや否や疑問なり（校長談）

●韓人强盜を捕ゆる法　某武辨の語る處なり一寸面白き節あれば左に大要を記すべし

韓人の强盜を捕縛せんとして抵抗を受けたることは從來其の例に乏し偶々之れありとするも其は除外例とも謂ふべし去れば被害者にして强盜侵入の當時成るべく速かに警察若しくは最寄の派出所に訴へ出でたらんには逮捕すること甚だ容易なり然れども被害者に於ては强盜の退去したる後ちならでは訴へ出づる際を見出し得ざるを以て警官の出張する頃は兇漢等は既に金品を强奪して遠くに姿をかくしたる後ちなりとす斯くて强盜逮捕は種々苦心して探察偵知の上ならでは捕縛に至らざるを常とす然るに若し韓人家屋に於て豫め强盜に備ふるため一般相互に其の隣家に一線を通じ置き若し甲の家に强盜侵入したる際には直ちに此の一線に依りて乙の家に信號を傳ゆる樣なし置きなば乙家より其旨附近の派出所に急訴するを得通例强盜は先づ大門を潜り入り中より堅く鎖して次ぎに中門を破り小門を破りて侵入するものなるを以て彼等は警官の出張と共に宛ら嚢中の鼠や同樣何處にも逃げ得ざる也斯くすれば强盜を捕ふるに何等の苦心を要せず云々

●永登浦役場解散請願の其後

永登浦總代役場は設立以來經費のみ要して其實蹟の毫も擧らざるを看取したる同地多年居留したる重立つ人々は大に之を憂慮し寧ろ之を解散して他に輕便なる居留民の機關を設けんに若かずと去月廿五日理事官に其解散を請願したることは曾て報せし如くなるが其後の情況を聞くに總代役場側にては其紊亂せるを掩はんためか近來俄かに書記を增加し數年前よりの諸帳簿の整理に從事し兎に角表面だけは糊塗し何所より質問せらるゝも之れに應ずる丈の道は講じ居るものゝ如く又役場維持の爲め在留者の同意を得る爲め調印簿を製せしめ書記山口某をして各戶に就て調印を勸誘せしめ居れりと同地よりの書信に見へたり

●俗謠●　吉崎御坊

新町通ひが近頃出來て　古ひ妾しは遠くなる

初の幟の節句のさけは　田舍酒でも世界長

●亂暴な兄弟　仁川京町二丁目理髮職台市熊市（三十）と云ふ其の實弟和四郎と一昨日午後二時半頃少しの言葉の行違ひより爭論を起したるが兩人は無暴にも裏棚より出刄を持ち來り兄弟必死となりて切合を追始め將に雙方共大怪我を爲さんず模樣を恰も好し巡廻中の警官認め直に兩人の仲に割つて入り懇々其の不心得を說諭し尙將來を誡めて放したる由なるが世にも亂暴な兄弟があるものかな

●蕎麥に醉ふて亂暴　船に醉ふこともあり車に醉ふこともあり醉ふもの酒にのみ限らずといへども蕎麥に醉ふとは近來の珍聞なるべし時は十九日の夜半頃本町六丁目の蕎麥有浦ケサ方に來りし客は長野縣北安雲郡南小谷村の者にて大和町一丁目に住する千玉忠司（三十）といふ名ばかり氣の利いた男にて此の韓國三界にまで飛び出して何をするかといへば一丁僅かに四錢の豆腐を五錢に賣つて一錢の利益で飯を喰ふといふ甲斐性なしであるが何と奮發したか大手を振つて威勢よく飛び込んで二階に押し登りたる蕎麥の二三杯を傾けて尙ほも注文の手を鳴らせしに夜半過ぎてのことゝて下婢が居眠つて返事を爲さゞるより忽ち醉狂を起し疊叩いて一人吐鳴つて居る所へ下婢の梅元トラといへるが其の物音に驚き駈け行くと已を豆腐屋と思ふて馬鹿にし居るかと言ひさまトラの頭部を二三回打擲した上に突き倒し亂虎の荒れたる勢にて亂暴を爲すを樓主ケサの內緣の夫なる江崎左右平が聞きつけて來り何を狼籍するかと二階より引ずり落し警察署へ連れ行き斯くと訴ゐるに及びしより忠司は蕎麥の醉の醒めるまで留め置かれて說諭の上放免せられしはそばの見る目も笑止のことゝもなりし

緊急廣告

去る四月一日より同三十日まで福引景品付聯合大賣出し擧行仕り意外の盛況を呈し五月五日其抽籤を行ふ規定の處抽籤器の準備に手順齟齬を生じ候爲め購客各位に對し甚だ相濟まず恐縮の至りに候へ共不得止抽籤期を

五月三十一日迄延期仕候

尙景品券は三十日まで各店に於て相變らず添付致候間御購客は必ず景品券御請求相成度候也

▲一等景品は旭橋森米店に陳列致居候

▲景品渡し期日は六月十五日限

龍山實業興振會

●醉狂喧嘩　一昨午後五時廿分頃南署管內竹洞の街路にて朴應煥、吳燦根と稱する二名の韓人互にへベレケになつて喧嘩をなし居りたるを竹洞派出所の警官に引立てられ醉の醒むるを待ちて嚴しく說諭の上放還されたり

景品付大賣出

景品總高金壹千圓也

一等金二百圓　貯蓄債券

二等以下略ス　店頭ニ揭載アリ空籤ナシ

現金掛賣共金五十錢每ニ景品券一枚

五月十日ヨリ七月十五日迄

抽籤期日七月十六日弊店ニ於テ新聞社員及景品券持參ノ御方立會ノ上公平ニ施行仕候

和洋雜貨　文房具卸　測量器械

京城本町一丁目（郵便局前）

シノサキ商店

電話六百四十八番

●仁川の下宿屋荒し　廣島縣阿藝郡第二百二十三番地平民舟乘業原田卯吉（三十）と云ふは去る四月二十三日仁川新町下宿屋金村方に投宿し其儘同家に下宿し居たるが本月十二日同家の下駄を穿ちて外出したる儘歸り來らざるより金村方にては一方警察に屆け置き一方店員をして搜索せしめ居たるが一昨日京町二丁目某飲食店に卯吉が下女と巫山戲居たるを金村が認めたれば直に同家に入り否應なしに警察まで引張り來りたれば仁川警察にては目下取調中

●迷兒　一昨午後四時頃南署盤洞に四歲位の韓人迷兒あり何處の者とも知れず銅峴分署にて保護を加へ置きたるが此の者は金谷七十統十一戶田光玉の姪と判り田光玉を呼び出して引渡す

●紅塵錄　京城市中過分に多い者は交番所と淫賣屋△曾て南部署の發言した淫賣婦取締と云ふもの唯の一回だけ明治町の兩三軒に對して行はれたるのみ本町七八町目や遂い御近所は結構な者依然としてやつて居る△京城の淫賣婦取締を甘く遣り遂げたらば桐原署長は確かに日本一流の豪い者になる△辻便所は寧ろ之れ有るが爲めに有害無益だ、例の淺黃服の囚人共が右の辻便所を汲んで左の溝に流して居るのを見ることは屢々だ△民團役所の稅金取立と云ふ役隨分面倒な者なるべし僅か三十錢か四十錢の掃除賃に對しても數回催促に行く相だ△掃溜や厠居の汚物を今少し奇麗に持つて行つて吳れば誰れでも稅金は滯り無く出す△岡目からは極めて隙の樣で忙はしいのは刑事巡査と新聞記者△刑事巡査は耳と眼が働き新聞記者は夫れに手と口とが加はる△箸にも棒にも掛からぬ放蕩兒年來の希望を遂して女郎屋の帳面づけに成つた相だ而かも一ケ月經たぬに飛び出した、世の中は見る程樂な者は無い者だテ



●商業大辭書補遺の發行　曩に東京同文館より發行せし商業大辭書は當時非常なる渴望を以て江湖に歡迎せられ爲めに洛陽の紙價をして一時貴からしめたるの觀ありしが今回之が補遺を發行し本書と相俟つて完璧なる冊子となしたりしは斯界の爲め最も喜ぶべき事なりとす當地に於ける發賣所は日韓書房にして定價は正價八圓特價五圓なれど此の際購求せらるゝ人々には特に割引して本書とも十六圓にて販賣する由なり

●痣患者の新福音　痣は從來不治症として日本は愚か歐米の大醫すら未だ完全なる療法の發見なく僅だ强酸類の腐蝕法又は局部切除植皮法或は電氣燒取手術等を施すに過ずして其結果は大なる瘢痕を殘し危險極りなかりしが爰に東京市神田區五軒町十九番地日新館藥房主は此痣療法につき十數年來の苦心と實驗とにより或る植物中に含有する物質があざ、入墨、ほくろ、雀斑、なまず、いぼ等に驚くべき特効あることを發見し種々巧風を凝し幾多の實驗を重ね漸く完全なる製藥をなし得たり此新藥は實に不思議の効力を有し痣、入墨、そばかす等の患部へ廿分乃至四十分宛四五回塗換ゆれば卽座に藥效を顯し其部への用藥は其れ限り廢止して其儘廿日內外を經る內に塗藥せし箇處は痂狀となりて何の痛みもなく自然と剝落し同時に痣其他を除去し得らるゝものにて同館より該藥發賣以來既に全治者數千名に達し居る由なり痣の如きは從來の刀圭界に不完全なる療法あるに止まりしを以て幾多同胞の內には痣やほくろ、そばかす、のために鏡に向ふ每に人に逢ふ每に煩悶懊惱不快に月日を送りし人々は此新藥の發見を以て眞に天の新福音に接する思あらん

廣告

新奇發明　增酒資料

一斗の淸酒は卽座に倍增し（卽ち貳斗）となる大金儲的釀造化學作用の一大發明新法なり（附錄）腐敗酒直し法、醬油參倍增法、味淋酒速造法、酢速造法、新酒を古酒に變ずる法、香竄葡萄酒速造法、燒酎倍增法、味噌速造法等以上の釀造家及び請賣營業者の一日も缺くべからざる確實

大有益案內

要錄望の方は右傳習手續摘要券四錢封送次第直に送呈す速に利用せよ驚くべき大金儲あることを確證す

發明元祖　東京神田五軒町十九番　日本授產館

世界無比　最新發明藥

あざ　入墨は廿日

ほくろ、そばかす、なます、いぼは拾日

目に必らず美麗に除去すること保險附

新發明藥にして患部の大小輕重を問はず容易に根治し假令顏面たりとも毫も痕跡を殘さず無痛にて除去し得らるゝことを確證す故に之を用ゆべき患ひある人は速に用ひて天然の美質を完ふせよ來館者へは謝狀及び除去したるあざ、ほくろ、そばかす、いぼ等の實物を示すべし實に世界唯一の新藥也但し本劑は其製劑を二種に區別し一はそばかす、入黑、いぼを除去するものとす又一はあざ、なます、ほくろを除去するものとす故に注文者は各自除去せんと望む所の病名及患部の模樣を詳細明記して申込あれ左すれば其病に適應する藥を送附すべし價は各壹劑分十錢三劑分三圓十錢六劑分五圓十錢二劑分十圓十錢づゝにて郵券代用二割增（患部の面積大なる人は大劑を求むるを便とす）着金卽刻小包郵送す

專賣　東京神田五軒町十九番　日新館藥房

提燈製造

並に印物一切

及氷提灯

京城壽町三丁目（本町五丁目阪本座入口）

中尾商店



くたびれ腹こめは　ヘルプに限る　のめばすぐ止る

ヘルプは各地到る處の藥店に取次販賣す

染物並洗張

迅速叮嚀を旨とし染色艶麗にして確實なるは本工場の特有なり

龍山元町四丁目（元今村跡）

桑澤工場

▲夏物新荷着▼

◎蚊帳◎新柄浴衣◎久留米絣◎セル◎英子ール◎單衣縞◎皮座蒲團其他

右新荷着仕候に就ては破格之廉價を以て販賣致候間陸續御買上げの程奉希上候

太物洋反物類　新蒲團蚊帳

（あ）

京城本町壹丁目郵便局前

秋山商店

（電話九四六番）

疊製造販賣

並に表替花莚

新疊は一枚に付一圓三十九錢以上は御注文に依り調製仕候

京城南山町四丁目

鷹取商店

（電話一一四番）

統監府御用

諸官衙人力車

荷物荷造及運搬

伊藤組

本店京城曙町電話（七三番）

營業所同本町三丁目（電話四〇番）

金融周旋、登記書類の代書、土地家屋賣買、諸錢貸借の周旋、漢城證明手續、土地家屋及未開墾地測量

旭町一丁目民役所橫

岡田幾三郎

取次電話二六八番

鰻蒲燒　小串一本金五錢

鰌蒲燒　小串一本金三錢

並に壽し

京城壽町三丁目（松金隣）

俵壽司

京城壽町二丁目

花屋旅館

（電話九一五番）

月刊　朝鮮

每月一回一日發行　定價一部廿錢　郵稅一切前金

京城本町二丁目　日韓書房

●業務擴張移轉廣告●

千翠萬綠の候各位益々御淸穆の段慶賀の至りに奉存候隨て弊行儀今回業務擴張の爲め左記の所に於て專ら確實に勉强可仕候間舊に倍し御引立の程只管奉懇願候　敬具

營業科目

▲東京高崎製金庫　▲西洋家具室內裝飾品

▲東京製簞笥　▲姿見鏡臺姿見類

▲美術掛額　▲消防用喞筒消火器類

▲下總田醬油　▲ビール各種

京城支那領事館通り

淸韓洋行本店

（電話架設中）

仁川仲町三丁目

淸韓洋行支店

（電話四二八番）

鍼灸術開業
昨年中龍山榮町龍山座前ニ於テ營業ヲ始メ御引立ニ預リ候處今般京城御得意樣ノ御招キニ應ジ左記ノ處ニ於テ開業致候間何卒舊ニ倍シ御引立ノ程只管奉懇願候
京城大和町二丁目(義和宮殿前)
鍼灸術 **中島惠愛堂**

百濟餅
高麗團子
弊堂製造の百濟餅並に高麗團子は今を去る數千年の昔吾が皇師の三韓征伐のとき百濟の王吾が皇子の長途の御遠征の御心勞をあわらせらるを案じ奉つり始めて献納申上げ其以來事柄を記し置きぬ其會祖旋凱の後ち家系に渡韓在韓國各地方漫遊の序百濟餅高麗團子の其所名だたる之を購はんとするも今は絶ねて世に基を知るもの無きを遺憾とし余が家系に比類なき韓國唯一の好物を得たり内地渡航諸君朝鮮土産又は病氣見舞等手軽進物品として新鮮なる名物の親玉なれば開港廿五年祭を機として廣く世に販賣しぬ御愛顧諸君多少に不拘御用命御付られ度偏に奉希候

太神宮神輿渡御繪入紀念カステラ煎餅
仁川港宮町一丁目
藤井千萬堂敬白

注意
洗張染
近頃弊社の名義を用ひ各所に回りて染の洗張等の注文を受け取り甚しきは期限を經過し或は品物を返さゞるもの有之趣右は弊社に於て一切責任を負はず候に付御注文品は弊社より渡す引換券と引換に御渡し被下度候
至ては誂へ物の品を失ひ又は返却せざるもの等も有之候間御注意被下度候
不都合候の事に付**物品**の御渡しは必ず弊社より出す引換券と**引換**に御取扱被下度候
京城南山町二丁目伊藤組横通
電話(百五十四番)
日韓**染物合資會社**

廣告
今般時勢の進運に鑑み小兒科專攻の爲め一時歸朝す
京城壽町三丁目
坂井病院長 **坂井義明**

醫院開設廣告
這般坂井病院の跡に於て一般患者の診療を開始す
五月一日
京城壽町三丁目(元坂井病院跡)
高井醫院院主
陸軍三等軍醫正 從六位 勳四等功五級 **高井貞治**

五月二十一日より三十日まで
夏物大賣出し
最新流行呉服太物取揃へ陳列仕候並に見切反物割安品賣出し
現金に限り
正札より**一割引**
右の日割を以て賣出仕候間何卒賑々敷御光來の程奉希上候
御進物用御便宜上金五圓以上呉服券も發賣仕候
京城本町四丁目
君ヶ代足袋 發賣元
山口呉服店
電話九番

出診院設置廣告
弊院儀今般患者諸彥の便宜を計り左記の處へ出診院を設け獨乙ドクトルフエールアイゼン氏式療法と日本大醫大谷博士多年苦悶研究ぜられたる最新式療法とを以て花柳病婦人科、外科、眼科の特治部として叮嚀親切を旨とし治療に應じ候
京城旭町三丁目
午前宅診 **十全病院**
同太平町二丁目
正午宅診 **十全病院出診院**

登錄商標
ゆりの花
つけて二分間程たてば赤味を帶び白くなる水におしろい
定價 金十五錢 金十二錢
製造本舖
京城本町二丁目
喜多商店
(電話四百十番)
韓國一手發賣元
京城本町一丁目郵便局前
アイエス商會
取次販賣御申込に應じ其他の化粧品一切販賣仕候

齒科全般の治療
米國最新式義齒
京城本町六丁目(笑そ處町)
米國齒科醫學博士 女醫 **中村安子**

業務擴張
清酒醬油 洋酒類種々 瓶詰類種々 諸國名産鑵詰類種々 野菜果實其他 食料品一切
京城本町六丁目郵便局前
根來商店
●二階貸間あり御望方は御來談あれ

特別廉價販賣
洗濯石鹼製造卸賣
右品質精選特別廉價を以て販賣し且つ印入等御注文に任かせ直に調進可仕候
京城本町九丁目
豊商會
仁川龍岡町停車場通り
豊商會支店

海陸運送業
生石灰販賣
龍山元町壹丁目
今福組

今般會員を增加し懇切叮嚀を旨として自宅病院外勤看護の依賴に應じ申すべく候
京城南山町(日本人俱樂部前)
漢城外勤看護婦會
電話九五二番

▲**懇切なる通關**▼
懇切を本旨として通關を取扱ひ迅速を特色として運送に從事致候間御用命奉願上候
京城南大門外吉野町
▲**迅速なる運送**▼
(二)運送店

本店 仁川理事廳通(電話三二一番)
原金旅館
支店 京城南山町(電話一〇七番)

廣告
瓦
橘瓦製造瓦販賣
並に御好に應じ營渡し可申候
京城旭町二丁目
橘辰三郎
京城本町四丁目
小室支店

高等理髮舘
京城相生町南門湯前
秀床

有名賣藥
化粧品
明治町三丁目(日韓印刷會社隣)
羽田商店

一會席御料理
御一人前金一圓
吸物 猪口 壚燒
さしみ 甘煮
上酒 二本
今回上等別品の藝妓兩三名並に熟練せる料理人ミ仲居を雇入叮嚀懇切を旨とし大勉強仕候間賑々敷御來遊の程偏に奉希候
明治町二丁目(富士材木店橫)
主人敬白 **敷島樓**

從來龍山川端町ニ於テ開業中ノ所今般患者諸氏ノ便利ヲ計リ旭橋通旅館長崎屋跡ニ移轉シ業務擴張汎ク一般患者ノ診察ニ應ス
龍山旭橋通り長崎屋旅館跡
診察時間 午前宅診 午後往診
入院隨時 **久木田醫院**

●統監府 ●各官衙 ●購買組 御用達
◉**蠟引最新式機械應用**◉
京城南山町三丁目本願寺下
阪洗濯店
今般最新式機械を購入致し且つ熟練の職人數名を更に聘し極力大勉強仕候間何卒倍舊の御愛顧御用命の程伏而奉希上候 敬白

謹告
エジプト莨及マニラ葉巻其他煙草類各種西洋雜貨洋酒洋菓子並に支那糖菓及紅茶
六神丸特約販賣
謹告 在韓淸國人 但有名なる上海製造のものに御座候
大連安徽 **頭彩 金壹萬圓** 第三十一次(陰曆四月十日陽曆五月十日)
湖北 **頭彩 金五萬圓** 第十八次(陰曆四月二十日陽曆五月廿日)開彩
江南 **頭彩 金壹萬圓** 第七十六次(陰曆四月廿八日陽曆五月廿七日)
第十七次(陰曆四月十五日陽曆五月十五日)開彩
定價
大連彩票全紙金七圓五拾錢 小切八拾錢
湖北彩票全紙金七圓 小切七拾五錢
江南彩票全紙金壹圓參拾錢
安徽彩票全紙金壹圓參拾錢
確實發賣如遠隔地方御購求希望者御附金並書留信料添附急速御用命通可贈付不誤主顧
西洋雜貨商
京城永樂町水漂橋二宮街
源源號

染
物 友仙小紋
更紗黑紋附
其他京染
中井染業店
京都市新シ町錦小路北入(電話千六百二十一番)
同 **分工場**
京城大和町二丁目二百五十二番戶

疊製造業
▲**開業御披露**▼
▲迅速確實價格低廉▼
京城南大門通二丁目
御手洗幸助

韓國京城
株式會社 **大韓天一銀行**
電話五五八番



美術書畫 襖、壁、天井張
京城壽町一丁目
桂萬吉

襖張替
表裝一切
京城本町五丁目
表具師 **竹堂**

氷大販賣
五月一日ヨリ氷庫開扉卸シ販賣致候間多少ニ不拘御注文被下度迅速配達可仕候
並ニ夏蜜柑御販賣
但産地より直輸入
京城曙町五六(明治湯前)
森田商店

東京 **生そば**
京城壽町三丁目坂井病院隣
東京庵
(電話架設中)

●**大阪豆腐**●
大阪滋養大王豆ソップ
右は一合三錢にて朝夕配達仕候間御入用の御方ははがきにて御一報被下度候
豆腐木のめでんがく
右は一人前十三錢にて仕出し可仕候
京城旭町壹丁目
中瀨商店
●**木のめ田樂**●

日本澤庵
味噌醬油製造
乾物荒物鑵詰
銘茶食料雜貨
京城本町五丁目
漬物問屋 **大上商店**
(電話二五一番)

日本郵船株式會社
仁川瀛船出帆廣告
電話十番

仁川海岸通
貨物及船客取扱店
郡回漕會
電話三九番

京城南大門通
巴商店
電話三〇六番

●釜山長崎門司神戶行 山東丸 六月七日 後三時出
●群山、木浦、釜山、門司、神戶、大阪行 第一オハヨ號 五月 日 後三時出
●大連、大沽、牛莊行 劍路丸 五月 日 後三時出
●大連、大沽、牛莊行 高砂丸 五月 日 後一時出
山東丸 五月廿六日 前五時出
●鎭南浦行 酒田丸 五月廿八日 後一時出
●釜山出帆、元山淸津、浦鹽行 第一オハヨー號 後三時出
弘前丸 五月 日
注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ船解纜ノ